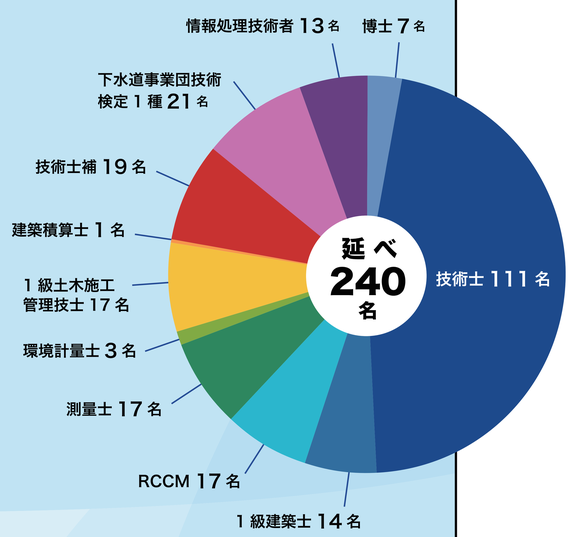
当社には
多くの有資格者が在籍しています。



仕事を支えているのは、
さまざまな分野の専門性。

水コンサルタントの仕事は、土木、建築、機械、電気など、多様な専門分野の技術者がチームとなって進めます。
それぞれが異なる視点や専門知識を持ち寄り、互いに意見を交わしながら、一つのプロジェクトを進めていきます。

出身学部・学科から見る活躍のフィールド

さまざまな専門分野を学んできた先輩たちが、それぞれの知識や経験を活かして活躍しています。

職種	土木工学	衛生工学	環境工学	建築学	機械工学	電気・電子工学	その他理系
上下水道計画	●	●	●				●
土木設計	●	●	●				●
建築設計				●			
機械設計					●		
電気設計						●	

東京設計事務所の仕事紹介

水の未来を描き、かたちにする
水コンサルタントの仕事。

水コンサルタントの仕事は、設計だけではありません。調査、計画、設計、工事監理、そして近年では維持管理や事業運営支援まで、上下水道事業のさまざまな段階に関わっています。私たちは施設そのものをつくるのではなく、その前後の工程を技術で支えています。（実際に施設をつくるのは、建設会社やメーカーです。）

人口減少や施設の老朽化、自然災害など、上下水道事業を取り巻く課題は年々変化しています。水インフラを整備するだけでなく、地域全体の水の未来を見据え、より良い仕組みを考え、提案していくことも、水コンサルタントの大切な仕事です。社会の変化とともに、私たちが担う仕事の領域はますます広がっています。

人口減少・少子高齢化 ／ 施設の老朽化 ／ 自然災害の激甚化 ／ 環境・エネルギー問題 ／ DX・技術革新

調査
地域の現状と課題を知る

人口や水の使われ方、施設の状態、地域の特徴などを調べ、上下水道が抱える課題を整理します。現地調査や資料調査、データ分析を通じて得られた情報は、その後の計画や設計の土台となります。

構想・計画
水インフラの未来を描く

調査結果をもとに、将来の上下水道のあり方を考えます。上下水道を整備していく方向性、どの施設を更新するか、災害にどう備えるか、事業をどう続けていくかなどを検討し、地域に合った中長期的な計画を策定します。

設計
描いた未来をかたちにする

浄水場、配水池、ポンプ場、下水処理場、管路などの施設・設備を設計します。土木、建築、機械、電気などの専門技術を組み合わせ、安全性、機能性、維持管理のしやすさを考えながら、図面や仕様書を作成します。

工事監理
現場で品質と安全を支える

施設が設計どおりに施工されているかを現場で確認します。工事の品質、工程、設計内容との整合性などを発注者の立場からチェックし、自治体や施工会社と連携しながら、工事の適切な実施を監理します。

維持管理支援
つくった後も使い続けるために

定期的な点検で施設の老朽化の状況を把握・分析し、その結果をもとに修繕や更新の計画づくりを支援します。また、限られた予算の中でも施設を長く使い続けられるよう、効率的な維持管理の方法を提案します。

事業運営支援
水インフラの経営を支える

人口減少や厳しい経営環境、技術職員の不足など、地域ごとに抱える事業運営の課題はさまざまです。将来にわたり上下水道事業を継続していくため、官民連携をはじめとした新たな事業手法の導入を支援します。

水を考えることは
“生きる”を
考えること